

1. 実施体制

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	新型コロナウイルス感染症対策の課題	突発的な業務増に対して限りある職員数の中で体制確保を行う必要があったため、全庁的に職員への負担が生じていた。	「準備期」に、有事において縮小すべき業務と維持すべき業務を整理した業務継続計画の策定を行い、必要に応じて見直しを行うことで、新型インフルエンザ等の発生時において強化・拡充すべき業務を実施できるよう準備します。 また、「初動期」では、業務の増大を想定し、早期の応援体制の構築を検討します。	1. 実施体制 「準備期」3-①、② 「初動期」2-②
2	第1回有識者会議委員ご意見	県と市とで平時から横のつながりを持ち、研修や訓練も連携しながら取り組んでいきたい。	「準備期」において、県および関係市町、指定地方公共機関と相互に連携し、新型インフルエンザ等の発生に備え、平時からの情報共有、連携体制の確認、訓練を実施します。	1. 実施体制 「準備期」4-①～③ 他
3	新型コロナウイルス感染症対策の課題	円滑な業務の支援のため、日頃からの連携が必要である。		

2. 情報提供・共有、リスクコミュニケーション

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	第1回有識者会議委員ご意見	高齢者だけの世帯など、ホームページの検索が誰でも簡単にできるものではない。ホームページでの情報発信だけで十分なのか。	情報提供については、市ホームページ等の各種媒体を利用し、わかりやすい提供・共有を行います。 高齢者や、こども、日本語能力が十分でない外国人、視覚・聴覚等の不自由な方へ適切に情報が届くよう、配慮をしつつ、情報提供・共有する媒体や方法について整理します。	2. 情報提供 「準備期」1-(1)-① 「準備期」2-(1)-① 「初動期」1-① 「対応期」1-①
2	新型コロナウイルス感染症対策の課題	必要な情報が必要な方に届くよう、各所属と連携して周知啓発に取り組む必要がある。また、外国人や高齢者、こどもなど、多様な人に必要な情報をわかりやすく届ける必要がある。		

2. 情報提供・共有、リスクコミュニケーション

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
3	第1回有識者会議 委員ご意見	感染症対策への個人意識の徹底が大切である。	感染症に関する基本的な情報、基本的な感染対策(換気、マスク着用等の咳エチケット、手洗い、人混みを避ける等)などの情報について、わかりやすい情報提供・共有を行います。その際、個人レベルでの感染対策が社会における感染防止にも大きく寄与することについて啓発します。	2.情報提供 《準備期》1-(1)-① 3.まん延防止 《準備期》1-①、② 《初動期》1-② 他
4	第1回有識者会議 委員ご意見	日頃からの手洗いうがいの習慣化など、基本的な感染予防の徹底が大切である。		
5	第1回有識者会議 委員ご意見	フェイクニュースの問題もあり、正確な情報提供が重要である。	《準備期》においては、市民等のメディアや情報に関するリテラシーの向上が図られるよう、各種媒体を活用し、偽・誤情報に関する啓発および正しい知識・情報の発信を行います。 また、《初動期》《対応期》においては、国や県から提供される、その時点で得られた科学的知見に基づく情報を繰り返し提供・共有する等、市民が正しい情報を円滑に入手できるよう、適切に対処します。	2.情報提供 《準備期》1-(3)-① 《初動期》3-①、② 《対応期》3-①、②
6	第1回有識者会議 委員ご意見	病気への不安から嫌悪が生まれ、嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることで、安心感を得ようとする負のスパイラルが生じるため、病気に対する正しい知識や理解、確かな情報を得ることが重要である。		
7	新型コロナウイルス感染症対策の課題	感染症に関する人権侵害や風評被害など差別をしない・させないことの徹底が必要である。	《準備期》において、感染症は誰でも感染する可能性があるもので、感染者やその家族、医療従事者等に対する偏見・差別等は許されないこと等について教育・啓発を行います。	2.情報提供 《準備期》1-(2)-①
8	新型コロナウイルス感染症対策の課題	施設等への情報提供については、有事の情報提供が円滑かつ迅速に行えるよう、平時からの連絡体制を整えておく必要がある。また、市域を超えて県・近隣市など、関係機関を巻き込んだ対策をとれるネットワークが重要である。	新型インフルエンザ等の発生時に関係機関等に対し、既存のネットワーク等を通じて情報提供・共有を円滑に行うことができるよう、あらかじめ双方向の情報提供・共有のあり方を整理します。 また、有事において、新型インフルエンザ等の患者等に関する情報をはじめ、必要と認める情報を、県から円滑に提供を受けられるよう、当該情報連携にかかる具体的な手順についてあらかじめ県と共有します。	2.情報提供 《準備期》2-(1)-②、③ 《初動期》1-③ 《対応期》1-③

2. 情報提供・共有、リスクコミュニケーション

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
9	第1回有識者会議 委員ご意見	情報拠点としての役割。情報が集約され、市民が正しく必要な情報に適宜適切にアクセスできることを市に期待する。	市民からの問い合わせについてはコールセンターに集約し、コールセンター等に寄せられた質問事項等からリスクコミュニケーションを行い、市民が求める情報を整理し、情報提供・共有する内容に反映します。	2.情報提供 《準備期》2-(2)-①、②、③ 《初動期》1-② 2-①、② 《対応期》1-② 2-①、②
10	第1回有識者会議 委員ご意見	市内の診療状況や薬剤の在庫等の情報を市で集約、発信してもらえたら良い。	診療状況については、県からの情報提供に基づき、地域の医療体制や医療機関への受診方法等について市民等に周知を行います。	2. 情報提供 《初動期》1-④ 《対応期》1-④
11	第1回有識者会議 委員ご意見	緊急時に使えるよう、薬剤の在庫情報を集約できるシステムの導入を今進めているので、その情報を市で発信してもらえるとありがたい。	薬剤の在庫等の情報にかかる市の集約、発信については、県や関係市町をはじめとする関係団体とともに調査・研究してまいります。	1.実施体制 《準備期》4-①、②

3. まん延防止

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	新型コロナウイルス感染症対策の課題	マスクやアルコール消毒液など感染症対策用品は、需要が生じた際には品薄の状態になり、必要な物品の確保をすることが難しかった。	市の所掌事務または業務に係る新型インフルエンザ等対策の実施に必要な感染症対策物資等を備蓄等するとともに、定期的に備蓄状況等を確認します。	6.備蓄 《準備期》1-①
2	新型コロナウイルス感染症対策の課題	施設の貸館収入の減少に係る指定管理料の補填等全庁的な対応方針が必要であり、不安を抱かれないよう適切な対応が必要である。	有事における施設の対応については、《準備期》から業務継続計画の策定を行い有事に備えるとともに、《対応期》には国や県の基本的対処方針に基づき、市が実施すべき必要な新型インフルエンザ等対策を対策本部において協議、実施します。	1.実施体制 《準備期》3-① 《対応期》1-(1)-②
3	新型コロナウイルス感染症対策の課題	オンライン対応については、日頃からのオンライン環境の整備や操作への慣れが必要である。	各業務において平時からオンライン対応を進めてまいります。(なお、計画冒頭に各感染症対策の推進にあたってはDXを推進することを記載予定です。)	—

4. ワクチン

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	第1回有識者会議 委員ご意見	ワクチンができてすぐ入手できるわけではないので、スムーズに入手できるようにできれば良い。	ワクチンの円滑な流通を可能とするため、「準備期」において、県との連携の方法および役割分担について協議の上、県におけるワクチンの流通体制の構築に協力します。	4. ワクチン 「準備期」1-(2)-①
2	新型コロナウイルス感染症対策の課題	有事において迅速かつ円滑な接種を実施するため、日頃からの関係機関との連携が重要である。	「準備期」において、医師会等と連携し、医療従事者、接種場所、接種に必要な資機材等の確保など接種体制の構築を進めます。	4. ワクチン 「準備期」2-(1)-② 他
3	新型コロナウイルス感染症対策の課題	ワクチン接種における医療従事者等の不足に対して、早期の業者への委託など対応が必要である。	「準備期」において、医師会等の医療関係者や学校関係者等と協力し、接種に携わる医療従事者等の体制や接種の具体的な実施方法について準備を進めます。	4. ワクチン 「準備期」2-(3)-① (ウ) 他
4	第1回有識者会議 委員ご意見	ワクチンについてどれほど効果があったのか。後遺症で悩んでいる方もいる。	「準備期」においては、予防接種の目的や制度の仕組み等、「初動期」においては、ワクチンの役割や有効性および安全性等について情報提供・共有を行い、住民の理解促進を図ります。また、「対応期」には、ワクチンの安全性について、副反応疑い報告や最新の科学的知見、海外の動向等を基に、適切な安全対策や市民等への適切な情報提供・共有を行うとともに、健康被害に対する速やかな救済を行います。	4. ワクチン 「準備期」3-①、② 「初動期」3-① 「対応期」3-(1)-①、 3-(2)-①、② 4-①
5	新型コロナウイルス感染症対策の課題	市職員でなければ対応が困難な業務以外の業務について整理し、早期に各業務を外部委託できるよう、判断・調整を行う必要がある。	「準備期」に、有事において縮小すべき業務と維持すべき業務を整理した業務継続計画の策定を行い、必要に応じて見直しを行うことで、新型インフルエンザ等の発生時において強化・拡充すべき業務を実施できるよう準備します。	1. 実施体制 「準備期」3-①

5.保健

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	第1回有識者会議 委員ご意見	第一線での住民支援。特に、平時から市がサポートしている方々を中心として、生活支援や健康観察、相談対応などを期待したい。	「対応期」において、市は、県が行う健康観察に協力します。また、県が行う要配慮者等への自宅療養体制の整備を支援するため、県が実施する食事の提供等の当該患者やその濃厚接触者が日常生活を営むために必要なサービスの提供または物品の支給に協力します。	5.保健 「対応期」1-(1)-①、②

6.物資

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	第1回有識者会議 委員ご意見	物資の確保について、市として、どれぐらいの量の物資を確保して、いつ頃提供できるかなど決まっているのか。	備蓄する物資の種類・量については、今後、危機管理課と協議・検討を進めてまいりたいと考えておりますが、市の業務の遂行に必要な物資の備蓄を想定しております。 施設や市民、事業者等で必要となる物資については、各施設等において備蓄に努めていただくよう呼びかけます。また、「対応期」には、生活関連物資等の価格が高騰しないよう、買占めおよび売惜しみが生じないよう、必要に応じ、関係業界団体等に対して供給の確保や便乗値上げの防止等の要請を行います。 なお、医療機関等における感染症対策物資等の備蓄等については、県行動計画にて規定されております。	6.物資 「準備期」1-①、② 7.市民生活 「準備期」3-①、② 「対応期」1-(4)-①、②、③
2	第1回有識者会議 委員ご意見	病院では防護服、マスクなど感染対策物資が手に入らず、再利用する状態であったため、物資の確保をお願いしたい。		

7.市民生活および経済の安定の確保

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	第1回有識者会議 委員ご意見	コロナで地域のイベントがすべて中止になり、再開したが、中止期間中にノウハウが途切れたり、高齢化が進んだりして完全に元通りとはなっていない。	新型インフルエンザ等および新型インフルエンザ等のまん延の防止に関する措置により生じた市民生活および地域経済活動への影響に対し、必要に応じた支援を行います。 なお、御指摘の点は重要な観点であることから、感染症対策の推進時に考慮すべき点として、計画冒頭に記載いたします。	7.市民生活 《対応期》2-(3)-①
2	第1回有識者会議 委員ご意見	コロナ禍で町内会の活動が形骸化した。町内会の活性化に向けた取組を期待する。		
3	新型コロナウイルス感染症対策の課題	事業決定から早急に支給を行う必要があるが、要綱およびシステム構築等の準備が膨大であり、調整に困難を要した。 国の経済対策決定から、実際に対象者へ支給できるまでに相当程度の期間が必要であった。	新型インフルエンザ等の発生時の支援の実施にかかる行政手続や支援金等の給付・交付等について、DXを活用するなど、適切な仕組みの整備を行います。	7.市民生活 《準備期》2-①

(その他)

	課題・御意見		市の考え方	記載箇所
1	第1回有識者会議 委員ご意見	初期に草津市はどこまで動いて良いのか。国・県の動きを見ず、草津市独自で動けることはあるのか。即時的な、柔軟な対応が必要である。	国や県の指示や情報がないと動けないことも多々あるが、例えば情報提供など、市民がどういった情報を求めているのか、それに即した情報提供を行うといった動きは基礎自治体だからこそその動きだと思うので工夫していきたい。	—